

# ほっかい新報

2007年 週刊 月3回発行

11月4日 (第1718号)

発行所  
ほっかい新報社  
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目  
電話 011(726)4858  
北洋銀行(普)0576770

定価  
月ぎめ 230円(1部80円  
(〒120円))  
年ぎめ 2,760円(〒1,440円)

# 「生存権裁判を支持する北海道の会」結成

## 母子加算廃止をやめさせよう—10月20日

### 母子加算削減は子どもの命と人権をわすれずもの生存権守れ

十月二十日札幌市内で、「生存権裁判を支援する北海道の会」(代表―青木紀・北大教授)が結成された。



田雄大弁護士(京都の生存権裁判の弁護人)は、福祉事務所の窓口で、働けるから働けとか、もう辞退したらどうかなど生活保護から振り落とす水際作戦が横行している。京都訴訟では、「原告が良いセーターを着ている、ストローを持って

いる贅沢だ」ということがまかり通っている。これを生存権裁判を通してかえていかなければならない。

〇四年から〇五年にかけて老齢加算、母子加算の廃止が出され、〇七年からはすべての母子加算が廃止され、保護基準が切り下げられる。生活保護が切り下げられると、ナンヨルニママの切り下げにつながる、買金アップの抑制にも

事務局から、支援する会の結成までの経過が報告されました。四月に母子加算が削られ、五月十八日に北

|      | 1級地     | 2級地     | 3級地     |
|------|---------|---------|---------|
| 06年度 | 23,260円 | 21,640円 | 20,020円 |
| 07年度 | 15,510円 | 14,430円 | 13,350円 |
| 08年度 | 7,210円  | 7,210円  | 6,670円  |
| 09年度 | 廃止      | 廃止      | 廃止      |

| ①           | ②          | ③          | ④          | ⑤          | ⑥          | ⑦          |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ①網走市 94.6%  | ②三笠市 74.6% | ③釧路市 72.9% | ④名寄市 70.5% | ⑤紋別市 61.5% | ①登別市 18.7% | ②旭川市 19.0% |
| ⑥北九州市 20.8% | ⑦札幌市 38.5% | ⑧函館市 25.3% | ⑨他         | ⑩          | ①石狩市 20.1% | ②石狩市 20.4% |
| ③           | ④          | ⑤          | ⑥          | ⑦          | ⑧          | ⑨          |
| ①           | ②          | ③          | ④          | ⑤          | ⑥          | ⑦          |

原告団◆札幌市中央区  
七尾 真美さん  
二人で暮らしています。現

在任中である部屋はガレージの上であり、とても寒い。十月月中旬から四月中旬までストーブを必要としていて、暖房費が冬期加算では足りません。不足額は母子加算で補ってきました。母子加算の減額は困ります。

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん  
私は、離婚後子どもを育てるために、いろいろな仕事をしています。小学校、中学校と教育費がかかり、一年前から生活保護を受給しています。子どもは、今年の四月派遣の仕事があり、九月から高校生になりました。私は経済的に無理です。月九万円から十万円です。私立は経済的に無理です。月九万円から十万円です。社会保険や厚生年金もついています。

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん  
無事公立高校に合格しました。入学準備に三万円と授業料五千三百円は支給してもらいましたが、教科書代、学校指定の運動靴、ジャージの代金などで消えてしまいました。そのほかにも実験用の白衣、辞書などに六、七万円かかり、児童扶養手当などをやりくりして賄いました。二年生時には修学旅行があり、十万円強かかると言われていました。これは保護費から支給されません。

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん  
母子加算が廃止となり、児童扶養手当も削られ、月十五万円あまの基準では家賃を払い、光熱水費を払い、学校の費用を払うと、毎日の弁当のおかず代や食費をひねり出すのがやっとなです。修学旅行の積み立てもあやうく、来年の修学旅行を断念せざるを得ない不安です。アルバイト禁止の学校なので、どこまで切り詰めるか見当もつきません。せめて高校卒業まで母子加算を残してください。

焦点  
旭川に遊びに来い先生からいつもお誘いを受けていました。「選挙が終わるまで待つて、必ずお邪魔しますから」と言いつつ、毎年選挙で実現しなかったのですが、参院選の後、思い切ってクラスの人たちに声をかけ、十月末に先生の自宅に集まって「ミニクラス会」を開くことが出来た。前回集まったのは先生の退職と還暦祝い。早いものでもうあれから九年の月日がたつて、来年は自分たちが還暦を迎えます。〇〇ちゃんはどうしている。〇〇ちゃんに会いたいね。四十数年前に戻って話が出来ると不思議。どういう訳か私の情報網が一番多いのですが、これも選挙のたびにみんなに連絡しているおかげでしょうか。年金の話し、親の介護、子ども達の働き方、農業問題、様々な話が尽きることもなく語られ、もちろん孫の話と健康の話も聞かれました。先生が町内会の人を誘って自宅で健康教室を開いていると聞いてビックリ。十本の指でかぞえきれない多趣味にも驚かされた。魚釣り(ヤマメ)の成果を食しました。お前達にとって俺はどんな先生だったのかな。みんなが口をそろえたのは「不正を許さないという正義感に燃え、一人一人をとても大事にして、暖かく接してくれたことが忘れられない」でした。(金八先生と同じかも)久々のクラス会で元気のバワーをしっかりと受けて、来年の再開を約束したのはいつまでもありません。



原告団世話人◆道生活と健康を守る会副会長 細川 久美子

お集まりのみなさん、生存権裁判を支援する北海道の会を結成していただきありがとうございます。心からお礼申し上げます。三十年間生活保護運動をやってきた一人として、母子加算削減をめぐる裁判は、子どもの人権を守る大事な問題として今日を迎えました。

今年の一月とても寒い日に、小樽に行き母子世帯の方々の話を聞き、この方々の子どもを守る、家庭を守る、そのためには母子加算削減はなんとしても不服だ」という審査請求を出し、裁

判にのぞむことも辞さない運動を一緒にしたい、そういう決意をかためてきたこの数カ月でした。

だから今日の支援する会の結成は、感無量です。離婚をするということはいろんな意味でつらい思いをしてきたのに、「勝手に別かれておいて」という言葉でパッシングをする社会情勢の中で、好きで別れたわけじゃない、好きで生活保護を受けるのではない、そこを受けけるのではない、そこを二人でも多くの人がわかってもらうには、生活保護を受けているお母さんたちが自ら、声をあげることだと数カ月いっしょになって話し合ってきました。

九人の人が声をあげました。審査請求した三十五人の中には、子どものことを考えるといじめられたらどうしよう、自分が障害者だということを知りながら知られたらどうしようというふた回、支援していただける人を増やしたいということを心からお願ひしました。

お母さんたちは裁判という、大変きびしい舞台に立つことになりました。どうか参加者のみなさんが、自分の地域にもって二回、三回は三人の方が見えています。

私は高校一年生と小学二年生の子とがいます。高校に行ったらすごくお金がかかります。四月から母子加算が減額され、冬季加算(十一月から三月)の打ち切りに加えてとても苦しい生活をしています。私生活は、二つの持病をもつていて、仕事をできる体ではありません。

子どもたちには、日々お金がかかり、毎日が苦しいです。子どもが成長してくる中で、服も買ってあげたいけどなかなかできません。

私は高校一年生と小学二年生の子とがいます。高校に行ったらすごくお金がかかります。四月から母子加算が減額され、冬季加算(十一月から三月)の打ち切りに加えてとても苦しい生活をしています。私生活は、二つの持病をもつていて、仕事をできる体ではありません。

子どもたちには、日々お金がかかり、毎日が苦しいです。子どもが成長してくる中で、服も買ってあげたいけどなかなかできません。

私は高校一年生と小学二年生の子とがいます。高校に行ったらすごくお金がかかります。四月から母子加算が減額され、冬季加算(十一月から三月)の打ち切りに加えてとても苦しい生活をしています。私生活は、二つの持病をもつていて、仕事をできる体ではありません。

### 勇気と元気もらい、学生時代の学びをおもひ出した 宮内 聡

「警沢な生活など望んでいないわけではないのです。人並みで十分なのです。母子加算が廃止になったらどう生きていけばいいのか」  
その養育、病氣療養など、

とてみたいへんな暮らしの中で裁判に立ちあがったのです。

当時の「臨調・行革路線」でも国民の立場から明確な対決軸を示しているのが日本共産党です。私も会員として裁判の支援、国の政治のおもひとを切りかえるために全力をつくします。「日本の政治に福祉の心をとりもつ」闘いで

私、北星学園大学の学生の自主的な学習会で、人間裁判といわれる「朝日訴

今年春に二つの病気を発症しています。原告になることを躊躇したこともありましたが、私と同じように困っている人たちの代表に立つつもりで来ました。よろしくお願ひします。

今年春に二つの病気を発症しています。原告になることを躊躇したこともありましたが、私と同じように困っている人たちの代表に立つつもりで来ました。よろしくお願ひします。



原告団◆札幌市中央区  
七尾 真美さん

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん

原告団◆札幌東区  
菊地 蘭美さん

# サポーターをふやし支援の取り組みを広げよう

## この裁判を人間裁判にする取り組みをしよう



名 誉 中 立 大 学 教 授 高 田 哲

最初に、提訴を決意してくださった九人のお母さん、とりわけ大変な思いをして今日この会場にいらしてくださった三人のお母さんたちに心の敬意を表したいと思います。三つの点についての話をさせていただきます。

### 「格差社会」と貧困

今日、様々な「難民」と呼ばれる人たちがこの国にいます。これらの人々は、日本政府によって意図的につくり出された人々、棄民政策の中で現出してきた

## 生存権裁判は子どもの教育問題にかかわる



代 表 北 海 道 大 学 教 授 青 木 紀

北海道大学の青木紀でございます。母子加算の問題ではさまざまな吉田弁護士

## 子どもにも希望を与える訴訟として

弁護士代表 井 内 田 信 也

生活と健康を守る会の顧問弁護士をしながら、守る会の人たちにいろいろなこ



日本国の考えでは生活保護は権利でなく、恩恵です。生存権は権利だと思っ

活保護に向き合いながら、日本の不平等な社会をどうよに生きていくのか、ということを必然的に考えなければならなかったのです。

### 「基礎構造改革」

今日の生活保護は先ほどから言われているように、非常に厳しい状況にありま

この「改革」の着地点は、二〇一〇年と二〇二五年にあると考えます。二〇一〇年には、団塊の世代と言われる人たちが基本的には全



「この話を聞いて、いろいろなことが浮かんできました。ある町の母子世帯にお邪魔した時、高校生と中学生の女の子がいて、お風呂の話になって、お母さんが「風呂がないの

「子どもにも希望を与える訴訟として」という話をされてい

膨大な額です。したがって、この時点まで日本からの脱税を図ったので、またその路線に、後期高齢者医療制度などもあ

「基礎構造改革」の出発点であったのです。さらに二〇一五年には、団塊の人々が「後期高齢者」となります。

「自立支援」法について、異を唱えるようになっ

### 母子加算訴訟を「人間裁判」に

私事ですが、私自身は小川政亮先生の門下生であり、白澤久一先生の指導を受けて公的扶助を実践して

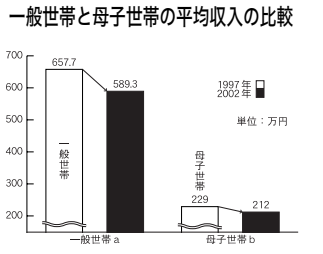
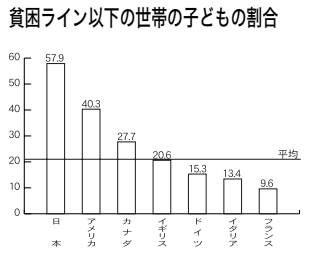
先日は、保育料の滞納の話がメディアでされている

「子どもにも希望を与える訴訟として」という話を

そして今年、その両氏が携わった朝日訴訟の提訴が五十年記念の年です。朝日さんが裁判を始めたとき

「子どもにも希望を与える訴訟として」という話を

「子どもにも希望を与える訴訟として」という話を



だ少数です。これを突破していかねばなりません。弁護士は日常的に離婚の件もあつてきています。離婚が成立して、生活してい

生活保護を受けている人たちは急げるとか、働こうとしないとか、自業自得であるとかいうようなこと

これは子どもの問題なのだ、子どもの権利条約に違反する。なすすという

子どもにも希望を与える訴訟として、子どもへの希望を語りねばならぬ。母子加算の問題ですか